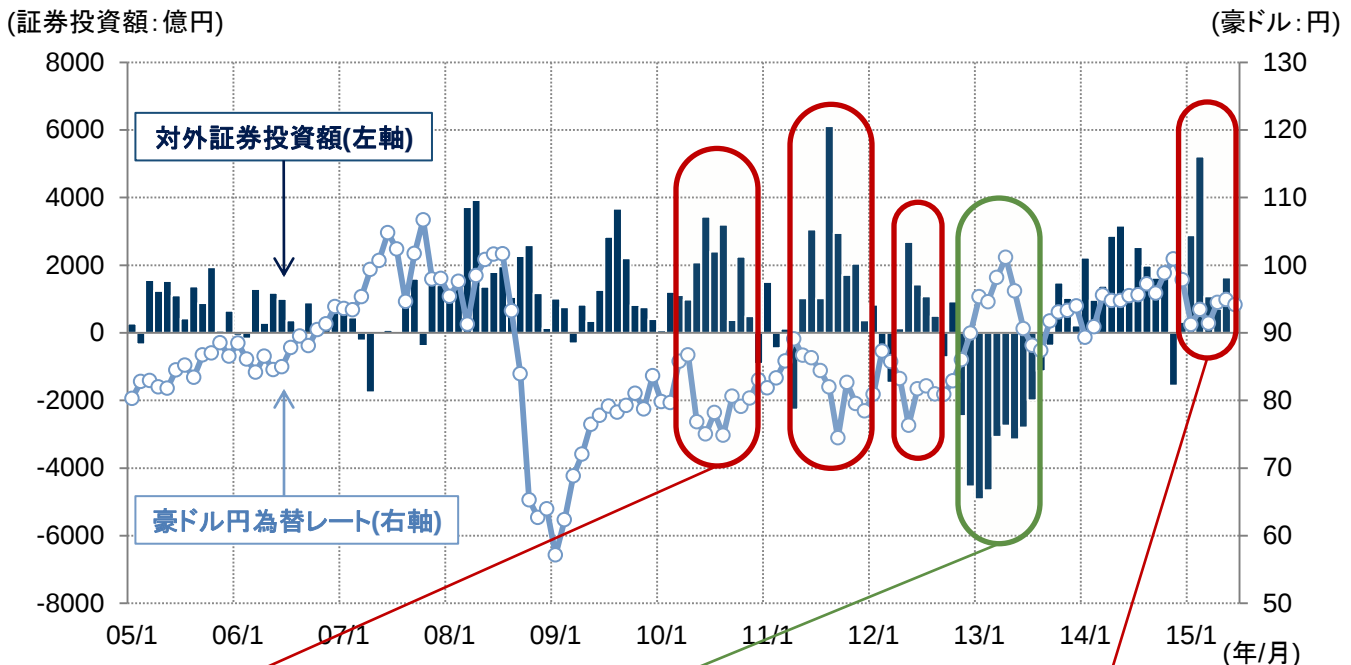


足元の豪ドルは魅力的？

足元の豪ドル安は投資機会を創出。日本人投資家は豪ドルの値動きに敏感。

- 下図は、豪ドル円為替レートと対外証券投資額の推移を比較したものです。対外証券投資額のデータは、日本から豪州への投資額を表しており、2008年の金融危機時を除いて「豪ドルと逆相関」の動きを示していることが分かります。
- 多くの日本人投資家はより高い利回りを追求する傾向があり、先進国で相対的に高い利回りを有する豪ドル資産(株式・債券・ハイブリッド証券等)には注目が集まりやすいとされます。そのため、為替レートが調整するタイミングでは、本邦投資家による豪ドル資産の購入が増加すると考えられます。
- なお、直近2年間に焦点を当てると、豪ドル円為替レートは90~100円のレンジで推移しています。90円に近づくほど日本人投資家の豪ドル資産買いは増加し、100円近辺に達すると顕著に売りに転じています。足元、豪ドルは91-92円前後で推移しており、日本人にとって豪資産を購入する機会が創出されていると言えます(7月15日時点)。

豪ドル円為替レートと対外証券投資額(日本から豪州への投資額)の推移



○ : 豪ドルが下落すると豪資産の購入が見られる。

○ : 豪ドルが上昇すると豪資産の売却が見られる。

直近2年間、豪ドルは90~100円のレンジで推移。90円台前半に下落すると豪資産の購入が見られる。

出所:ブルームバーグ(財務省) 期間:2005年1月末~2015年6月末(対外証券投資額は2015年5月末まで)
上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

Goldman Sachs

Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。低格付けのハイイールド証券は、価格の大きな変動性を伴い、より高い格付けの債券と比較して大きな信用リスクにさらされる可能性があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8679-OTU-40803>